

## 【初期認知症徴候観察リスト（OLD）】

氏名	カルテ番号	歳	診断年月日 年 月 日
記憶・忘れっぽさ	1  いつも日にちを忘れている — 今日が何日かわからないなど		
	2  少し前のことをしばしば忘れる — 朝食を食べたことをわすれているなど		
	3  最近聞いた話を繰り返すことができない — 前回の検査結果など		
語彙・会話内容の 繰り返し	4  同じことを言うことがしばしばある — 診察中に、同じ話を繰り返す		
	5  いつも同じ話を繰り返す — 前回や前々回の診察時にした同じ話（昔話など）を繰り返す		
会話の組み立て能力と文脈理解	6  特定の単語や言葉がでてこないことがしばしばある — 仕事上の使い慣れた言葉などがでてこないなど		
	7  話の脈絡をすぐに失う — 話があちこち飛ぶ		
	8  質問を理解していないことが答えからわかる — 医師の質問に対する答えが的はずれで、かみあわないなど		
	9  会話を理解することがかなり困難 — 患者さんの話がわからないなど		
見当識障害 作話・依存など	10  時間の観念がない — 時間（午前か午後さえも）がわからないなど		
	11  話のつじつまを合わせようとする — 答えの間違いを指摘され、言いつくろおうとする		
	12  家族に依存する様子がある — 本人に質問すると、家族の方を向くなど		

Observation List for early signs of Dementiaを略してOLDといい、オランダでかかりつけ医のために作成された。HDS-Rが質問式の診断方法であるのに比し、OLDは観察式の診断方法なので、患者さんが協力的でなくても患者さんの日常生活をよく知っている人からの情報で実施可能。OLDでは、12項目のうち4項目以上が明らかにあれば認知症を疑うが、チェックされた数の多い少ないにはこだわらず、OLDを意識して診療することで、認知症の早期発見につなげていくことを目的にしたチェックリストである。